



農業は用法を守って使用し、安全・安心な農産物を育てるとともに、保管や処分もしっかりルールを守りましょう。この機会に、在庫農薬について確認してみてください。



運搬業者や処分業者に正しく伝え、処理が無事に完了したか確認を行う責任があります。その証拠となるものが「マニフェスト」です。いつどこで、だれが、どの産業廃棄物をどのように処分したか、確認することが出来ます。JAでも「マニフェスト」を交付し不要農薬が適正に処理されているか確認しています。

不要農薬回収日程

地区名	回収日	回収場所	時間	申込書提出締切
西部 塩田 青木	令和8年 1月21日(水)	グリーンファームしおだ店	9:00~12:00	令和7年 12月19日(金)
東部 真田 上田東	令和8年 1月27日(火)	上田東地区事業部営農課	9:00~12:00	
丸子 よだくぼ南部	令和8年 1月28日(水)	よだくぼ南部地区事業部営農課	9:00~12:00	

※11月に各地区事業部営農課にお知らせを用意します。申込書はお住いの地区の営農課にご提出ください。

処理料金

分別種類		廃農薬重量(農薬容器込・100g未満切り上げ)(液体と固体に分けてそれぞれ計量)					
		100g~400g	500g~900g	1kg~1.4kg	1.5kg~2.4kg	2.5kg~3.4kg	以降1kgごと
①品名が判明するもの	ア.一般農薬	1,000円	1,780円	1,840円	2,760円	3,680円	+920円
	イ.特別管理農薬	1,600円	2,550円	2,600円	3,900円	5,200円	+1,300円
	ウ.クロピク・POPs系農薬	4,200円	7,000円	7,100円	10,650円	14,200円	+3,550円
②水銀剤		25,000円	46,000円	47,000円	70,500円	94,000円	+23,500円
③品名が不明なもの		25,000円	46,000円	47,000円	70,500円	94,000円	+23,500円

※回収時に分類し、お支払金額を確定します。申込の際に発行するお見積りは参考価格です。ご了承ください。

不要農薬回収についてのお問い合わせは、お近くの各地区事業部営農課またはグリーンファーム各店へお気軽にどうぞ。

気軽に家庭菜園

第280回
今月は

「不要農薬回収」

農薬は害虫や病気から植物を守ってくれる頼れる存在です。ラベルの記載通りに使えば安全で、家庭菜園でも手軽に利用でき便利です。しかし、いざ処分しようとなると、市町村が回収するゴミに出すことができないので、どうしたらいいのかわかりません。

JAでは定期的に不要農薬の回収をしています。今年度から不要農薬回収は、エリアごとに行うようになりました。今回は不要農薬回収についてお話しします。



なぜJAが回収するの?

不要農薬の処理は産業廃棄物の中でも特殊なため、一般の産業廃棄物では扱っていません。JAの不要農薬回収は、お困りの皆さんへのサービスとして行っている事業です。不法投棄や不法焼却、悪臭を発生させるような不適正な保管は、周囲のみなさんの迷惑になることはもちろん、産地の信頼を損なったり、環境汚染や環境破壊、大規模災害につながる恐れがあるため、関係法令に基づいた処理を行う必要があります。「少しでも早く」「期限が切れているから」などといった、家庭のごみと一緒に出したり、空き地に撒いたり、野焼きしたり、ましてや水路や下水などに流すことのないようにしてください。



回収までやることは?

JAが11月に用意する「不要農薬回収のお知らせ」(不要農薬回収申込書兼委任状)を入手いただき、必要事項の記入と提出が必要です。お知らせは、各地区の営農課に用意します。



回収から処分の流れはどうなっているの?

当日は不要農薬と印鑑を持って回収場所にお越しください。回収時に専門業者が立ち合い、廃棄の方法に沿って分類します。処理料金が当日確定するのものです。処理に手間がかかるものや特殊な処理が必要なものなど、大きく5つに分類され、それぞれの処理工場に運ばれます。

産業廃棄物の処理を委託する場合は、「マニフェスト(産業廃棄物管理票)」を使うことが法律で義務付けられています。産業廃棄物がどのようなものを排出者(委託者)が十分に把握し、収集